

争った3年は男子が座波晃大(玉城)、同女子は嶺井美希菜(具志頭)が制した。個人戦2年の部男女の優勝から8位までのペアは、

九州ジュニア選抜インドア大会(12月26、27日、熊本県総合運動公園)への出場権を得た。同大会には10月の当山杯大会男子で優勝し

た東風平、2位の羽地、3位の小緑、女子を制した本部、2位の今帰仁、3位の名護が団体戦に出場する。(記録は後日掲載)

快勝、息ぴったり 吉川 高嶺

○8月の九州中学校大会で3位入賞した川平の吉川小百合(2年)と高嶺心萌(1年)組が2年女子の頂点に立った。逆に「プレッシャーになっていた」

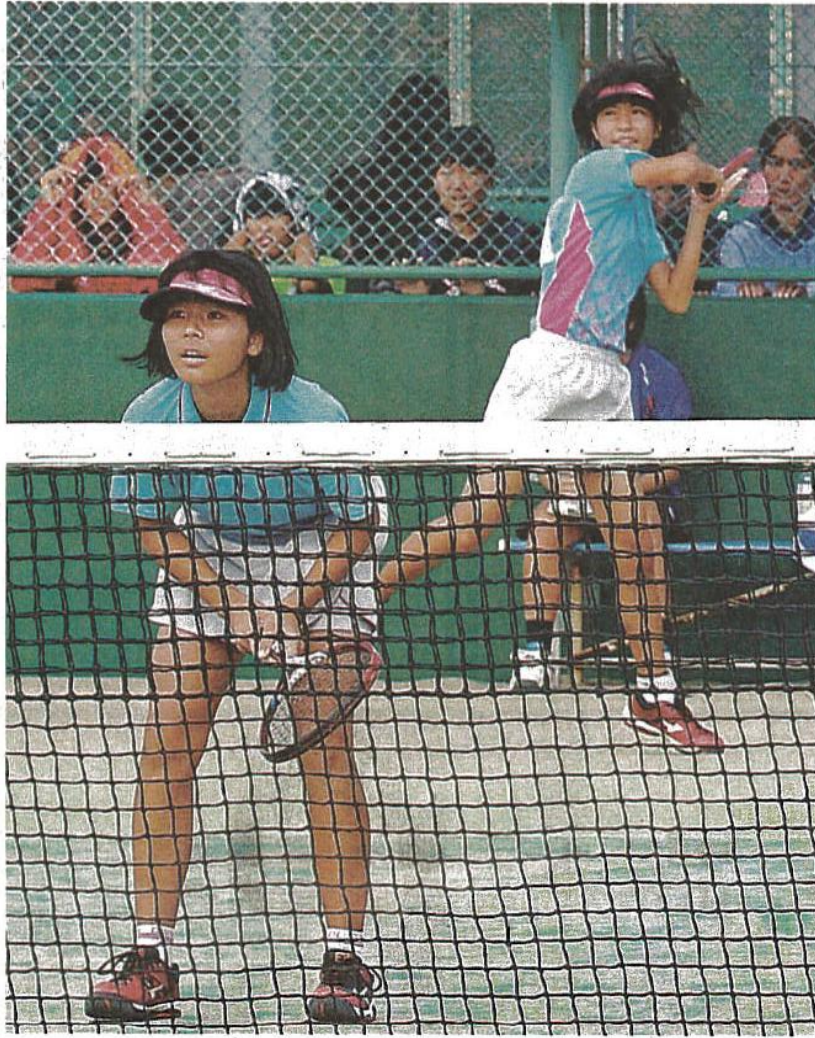
オールラウンダー」(高嶺)同士が強みを発揮。決勝の東風平ペアを4-0の完勝で下した。

1から前衛・高嶺のスマッシュやボレーがはまり、第3、4ゲームは相手に得点を与えなかった。

(吉川)という夏の好成績を吹っ切り、2選手が前後衛に位置する雁行(がんこう)陣や、平行に並ぶ平行陣など「どの形でもできる

主に雁行陣で臨んだ決勝の第2ゲームは凡ミスから競り合う場面もあったが「絶対次の1本を取ろう」と声を掛け合い、巻き返した。

小学生の時からペアを組み、あうんのプレーが持ち味だ。顔や髪型、体形が似ておりふたごと間違われることもある。12月下旬の九州ジュニア選抜は「1位を目指す」と声をそろえた。



2年女子決勝 東風平・川平 ラリーで粘る川平の吉川小百合(奥)と高嶺心萌